

東大泉デイサービスだより

「ありのままのあなたを大切にします」

平成 28 年 9 月 237 号
発行 練馬区立東大泉デイサービスセンター
練馬区東大泉 5 丁目 15 番 2 号

8 月も終わりもう暦の上では秋です。今月は敬老会が催されます。今ご利用頂いているお客様は明治、大正、昭和のお生まれです。この仕事についてから実習生さんは徐々に平成の生まれの学生さん生徒さんが増え、何か感慨深いものがありました。平成ももう 28 年が経過したのですね。

平成 28 年 9 月 1 日
所長 津上 敏明



知っていますか？

海苔を消化できるのは日本人だけ

日本人の腸が海草に含まれる多糖類を分解できるのは、分解酵素を作る遺伝子を腸内に住む細菌が海洋性の微生物から取り込んでいるため(中略)ヒトの腸内に住むバクテロイデス・プレビウス(Bacteroides plebeius)という微生物が、同じ酵素を作る遺伝子を持っていることが分かりました。このバクテリアはこれまで、日本人の排泄物からしか見つからなかったそうです。びっくりですね。



保健だより

9 月 9 日は・・・「救急の日」です。

救急の日は、「9(きゅう)9(きゅう)」の語呂合わせから、救急医療関係者の意識を高めるとともに、救急医療や救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めることを目的として、1982 年に厚生労働省によって定められました。

☺備えあれば憂いなし・・・「準備が整っていれば、どんな事が起きても案ずることはない」

日ごろからの準備が大事です。

☺一家に一つ!!! 家庭の救急箱の中身は何が必要か? 自宅の救急箱、中身は揃っていますか?

最近ドラッグストアも増えコンビニにも衛生用品が置いてあるので自宅に救急箱は置いていないという人もいるかと思われれます。しかし、いざ具合が悪いとき、もし一人きりだったら買いに行けるでしょうか? 万が一の怪我や発熱などの応急措置に対応するためにも、あらかじめ必要な薬や衛生用

品を常備しておきましょう。

あると便利な救急箱の中身をまとめてみました。(ほんの一例です。それぞれのご家庭に応じて準備しましょう。)

内服薬…総合感冒薬・解熱鎮痛剤・胃腸薬・酔い止め
外用薬…消毒薬・点眼薬・湿布薬・塗り薬・虫除けスプレー
その他…体温計・包帯・絆創膏・はさみ・ピンセット・
毛抜き・アイスノン・ガーゼ・ビニール袋・綿棒・
ティッシュペーパー・三角巾

☺薬には使用期限があります。最低でも一年に一回は定期的に中身をチェックしましょう。

★病院へ行く? 救急車を呼ぶ? 急な病氣やけがで迷ったら★

東京消防庁救急相談センターへ

急な病氣やけがをした場合に、「今すぐ病院に行ったほうがいいのかな?」「救急車を呼んだほうがいいのかな?」など迷った際の相談窓口として、東京消防庁救急相談センターを開設しています。

東京消防庁救急相談センターでは、これらの相談に相談医療チーム(医師・看護師・救急隊経験者などの職員)が 24 時間・年中無休で対応しています。

受付番号#7119 は携帯電話・PHS・プッシュ回線からご利用いただけます。その他の電話・または、つながらない場合は、03(3212)2323 からご利用ください。

辛夷俳句会

-犬吠埼-

梅雨探し海鳴り止まぬ岬宿
網戸して後れ毛なびくひとり棲
老いてなほ願ひ届けよ天の川
夕菅や木曾に古りたる宿場町

英三
芳子
高子
公紀

-富久娘は広島^{はぎ}の銘酒なり-

盆棚に父の好みし富久娘

幸子

名句鑑賞

「夕風や水青鷺^{はぎ}の脛を打つ」

蕪村の名句です。夏の夕方、水辺の青鷺が夕風に小波をよせてくる水を脛にうけて心地よげに立っているという意です。

格調の高さは硬質の漢語体文章の効果といえましょう。鷺の足を脛と擬人化し、夕風に清涼感を強調するなど種々工夫を凝らしています。

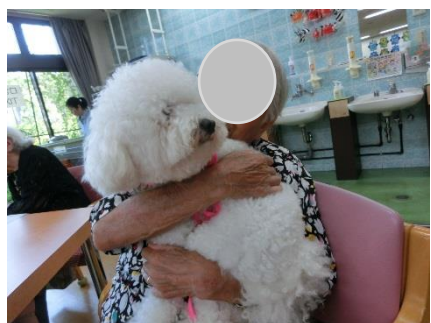
夏の夕景にふさわしい秀吟です。



犬が来ました

本日犬がデイサービスセンターにやってきました。犬好きの私は人一倍期待していました。犬の方からクーンクーンと甘えて寄ってきてくれると自負していました。膝の上に抱き上げると、美術品のような美しさ。最近の犬はきれいにトリミングやシャンプーされていて、犬もたいへんだなあと思いました。

利用者 M・T様



続・園芸日記

5月中旬、リハビリ室前の土地を耕してタヒチスイカを植えました。生まれて初めて作物を育てるため、何から始めたらいいかもわからず何度もインターネットで調べて、試行錯誤する毎日。なんとか7月に実をつけました。その後は発生する虫と戦いながらも8月15日やっと収穫できました。大きさは周囲45センチとこだまスイカよりも小ぶりでしたが、中は赤く味も甘くて、市販のスイカには負けますが、中々おいしく育ってくれました。スイカを育て始めた頃は他の職員に「できない、できない」「出来たら儲けものだね」と言われていたので、ひとつでも実がついて収穫できて、本当に良かったです。来年はもっと大きなスイカが育つように今から研究していきます。



作品展

今年も練馬区主催の「第4回 ねりま手工芸公募展」にお客様の作品を応募いたしましたところ、3名の方が入選となりました。

★I・T様「花のテーブルセンター」

色々な布を使ってとても楽しくすることが出来ました。ぬっている時に皆々様になにをぬっていますかと何度もきかれた事、とてもうれしかったです。



★T・T様「藍染のテーブルセンター」

何か作ってみませんかと言われ、作った小さなキルト袋。その出来上がりに嬉しくなり、色々作りました。今度は大きなテーブルセンターに挑戦してみました。ありがとうございます。



★Y・T様「ナインパックのキルトバック」

初めてのパッチワークを作ってみました。小さな生地をはぎ合わせて、色合いを見ながら、いろいろな皆様に助けていただきまして。ようやく出来上がりました。うれしかった!!



編集後記

毎年夏から秋へ移り変わる頃、敬老会を実施しております。いろいろなスタイルの敬老会があると思いますが、今年は「お客様と一緒に作る」という事を大切にしました。お客様のお力を借りながら明るく楽しい敬老会にしたいと思っております。

介護士 本間妙子

